

西部センターだより

6号

H26・3・25

お昼になると、こんな会話が飛び交います。「泰介が無事に帰ってきたんだから活男君や悠太郎さん、きっと帰ってくるよね。」「はい、涙を拭いて！」

あまロス(あまちゃんが終わって、無気力な状態)で落ち込んでいた私は、いつの間にか「ごちそうさん」の虜(とりこ)になっていました。出張で出かけているとき以外、センター職員のお昼の日課は、一緒にお弁当を食べ、一緒に軽い運動をし、そして一緒に「連続テレビ小説」を観ることでした。出張先から買ってきた梅干し、イチジクの甘露煮、漬け物、季節の野菜や果物など、所狭しとテーブルに並び、そこには本当に明るい笑い声が溢れていました。

あなたの職場はいかがですか?この一年、「センターに来られた方には笑顔で帰ってもらおう。」「風通しのよい職場にしよう」をモットーに、一人ひとりが心を込めて対応してきました。「はい、西部社会教育研修センター〇〇です」どこの職場よりもテンションの高い、相手の顔を思い浮かべながらの電話対応も自慢のひとつでした。

山本浩樹、花田健司、家田ゆかり、永井宏子、三瓶暁、5人の個性がひとつになると美しいハーモニーを奏でるんだということを体感した日々でした。

さて、平成25年度が終わり、私はセンター卒業の日を迎えました。こんな私を陰に陽に支えてくださった多くの皆さまにただただ感謝の一言でございます。ありがとうございました。(み)



研修の様子をお伝えします①

平成25年度 社会教育主事講習[B]

期日：1月22日～2月28日
会場：いわみーる 302 研修室

『生涯学習概論』

1月22日～1月28日の5日間

開講式



お一人での受講でしたが、熱心に学んでおられました。5日目の感想では、「早く公民館に戻って実践したいです。」と言っておられました。

『社会教育特講』

2月10日～2月21日の8日間



4人(姉妹!?)で真剣に受講しておられました。休憩中は、楽しくお茶会をしながら、講義内容を深めておられました。

今年度の島根西会場では、『社会教育計画』(5日間)、『社会教育演習』(9日間)の受講はありませんでした。来年も実施予定(H27年1月21日～2月27日)ですので、みなさんぜひ受講してください。

研修の様子をお伝えします②

親学ファシリテーター養成講座

期日：2月27日(木) 会場：いわみーる

大田市・江津市・川本町・浜田市・吉賀町の教育委員会と、西部社会教育研修センターが共催して開催しました。

当日は、22名の方が受講され、修了証をお受け取りになりました。

1日での開催ということで、かなり慌ただしく講義・体験されました。実際に自分たちで、親学を準備・実施もされました。

今後みなさんの活躍により、親学が広まり、家庭教育支援がより進んでいくことを期待しています。



【講義】

「親学プログラム」とは何か、どのような効果が期待されるのか、ファシリテーターの役割とは、等



【体験①】

本センターの職員のファシリにより親学を体験するとともに、留意点を学びました。



【体験②】

2・3人組になり、ファシリ体験をしました。それぞれ自分の良さを発揮しておられました。



福井県から視察に来られました

2月28日(金)、福井県の嶺南社会教育担当者連絡協議会5名の方が、本センターに視察にお見えになりました。美浜町、若狭町、おおい町、高浜町からのお客様でした。

視察の内容は、大きく以下の2点でした。

- ・ 親学プログラムの普及・定着と学習プログラムについて
- ・ 家庭教育に関する支援と普及・啓発の取組について



最初に、親学プログラムの説明、次に、実際にプログラムを体験していただきました。教育事務所企画幹、センター職員も加わり、それぞれの思いを語るひと時をもちました。

最後に、みなさんからの熱心な質問に答え、センター職員も説明に汗しました・・・^_^;

西部センターだより 6号 2014年3月25日発行

発行所 島根県立西部社会教育研修センター 〒697-0016 浜田市野原町1826-1 (いわみーる3階)
TEL: (0855) 24-9344 FAX: (0855) 24-9345 Eメール: seibu_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp

